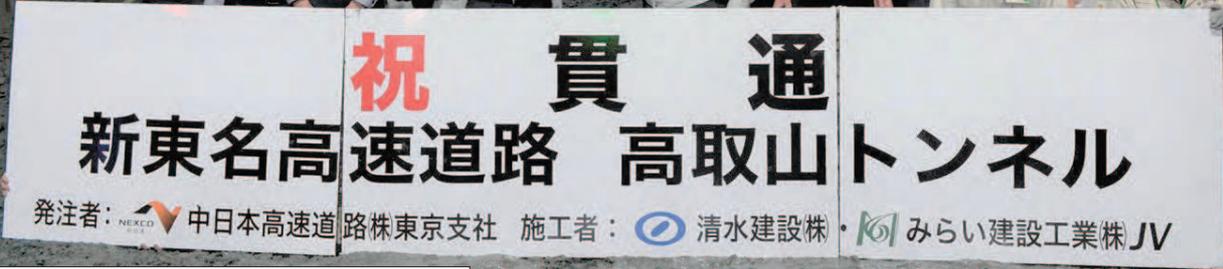


新東名
高速道路

令和3年度の開通を目指して!
秦野の東西に新たなトンネルが

貫通
しました

秦野市と伊勢原市を結ぶ高取山トンネル上下線が7月に、松田町とを結ぶ
萱沼トンネル上り線が10月にそれぞれ貫通しました。令和3年度の秦野市
域開通に向け、NEXCO中日本において建設工事が進められています。



注) IC:インターチェンジ SA:サービスエリア JCT:ジャンクション

※IC、SA、その他工物は全て仮称です。

高取山トンネル(下り線)貫通時の様子。(中央右側が高橋市長、左側が高山伊勢原市長) 撮影:令和2年7月

建設工事 着々と進んでいます。



萱沼トンネル(上り線)(令和2年10月時点)



高葉川橋(令和2年11月時点)
←高葉川
↑名古屋方面
↓東京方面



羽根トンネル
↑名古屋方面
↓東京方面
ヤビツ峠→
金目川橋(令和2年11月時点)



期待される
効果

新東名高速道路の開通により、交通
利便性が向上し、観光資源を活用した地
域活性化や、災害時の支援体制の強化
など、さまざまな効果が期待されます。

1 交通利便性の向上

市内の上地区および北地区の2カ所から新東名高速道路へのアクセス
が可能となり、利便性の向上が見込まれます。

また、市街地や幹線道路を回避した高速道路アクセスが可能となるこ
とで、一般道の渋滞緩和による沿道環境の改善や交通事故の減少も期待
されます。

2 救急・救命サービスの向上

現在、高度医療施設である東海大学病院(伊勢原市)へのアクセスは、国
道246号が中心となっていますが、慢性的な渋滞が発生する路線であり、
1分1秒を争う人命救助において、搬送時間が大きな課題となっていました。

新東名高速道路を利用することで、所要時間短縮による救命率の向上が
見込まれることや、高速道路の走行による振動の抑制などにより、搬送時
のより正確な手当や傷病者の負担軽減などの効果が期待されます。

3 災害時の支援体制の強化

東海地震などの大規模な災害が発生した際に、現東名高速道路や国道
246号が寸断されると、物資の輸送や救命活動に大きな支障となり、市民
生活においても大きなリスクを抱えることとなります。

新東名高速道路の開通により代替ネットワークが確立され、迅速な救援・
救助や物資輸送路の確保など、大きな役割を果たすことが期待されます。

開通予定時期



市の取り組み

秦野SA周辺のイメージ



スマートICアクセス道路の整備



秦野SAスマートICと地域の幹線道路である県道705号を接続するアクセス道路の整備に合わせて、県道705号の右折レーンや歩道拡幅工事を今年度の完成を目標に進めています。

スマートIC開通に伴い交通量の増加が見込まれるため、秦野SA周辺道路の安全対策事業にも取り組んでいます。

工事中は交通規制等によりご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



NEXCO中日本からのお知らせ

秦野事業PR館

平成31年1月に秦野SA建設地に秦野事業PR館を開館しています。

PR館では秦野市内の工事の進捗状況や完成予想図、出土した埋蔵文化財や開通後イメージしたジオラマなどを展示しています。ぜひ、一度足をお運びください。

なお、見学には予約が必要です。

ご予約はこちらから! (電話・WEBも同様の受付)

- 窓 口 NEXCO中日本(秦野工事事務所)
- 電話予約 ☎(80)5600 (平日:午前9時~午後5時半)
- 予約受付 ◆受付開始:30日前の午前9時から ◆受付締切:7日前の午後4時まで
◆キャンセル受付:2日前の午後4時まで
- 見学開催日 火曜(午前10時・11時)、水曜(午後1時半・2時半・3時半)、木・土曜(午前10時・11時・午後1時半・2時半・3時半)
- 参加費用 無料
- WEB <https://airrsv.net/shintomei-hadano/calendar>



厚木秦野道路(国道246号バイパス)

厚木秦野道路の期待される効果

厚木秦野道路は、厚木市から秦野市へ至る、延長約29kmの自動車専用道路です。本市域内においては、伊勢原西IC(伊勢原市善波)~東名秦野中井IC間5.2kmは事業化されていますが、東名秦野中井IC~秦野西IC間7.4kmは事業化されていません。

1 渋滞の緩和

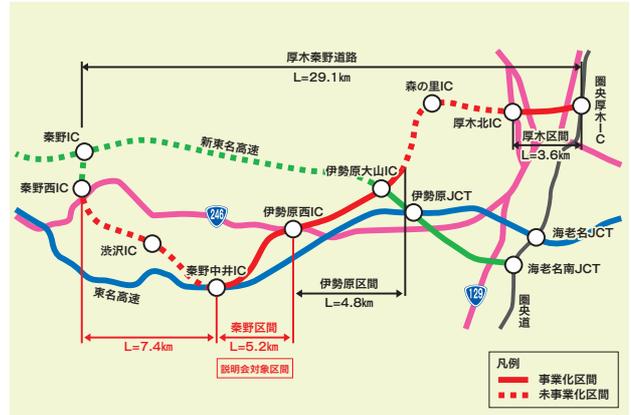
厚木秦野道路開通により国道246号で慢性的に発生していた渋滞が緩和され、交通の流れがスムーズになり、沿道の環境改善にも貢献します。

2 生活道路の機能改善

国道246号の渋滞緩和により、市内の生活道路を抜け道とした車も減少し、安全で静かな環境に繋がります。

3 時間短縮・地域間交流

厚木秦野道路は、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道との連結により高速ネットワークへのアクセスが向上し、地域の交流・連携の強化が期待されます。



整備促進に向けた取り組み

厚木秦野道路の早期整備および全線の早期事業化に向けて、本市、伊勢原市、厚木市、中井町、大井町、松田町、清川村の7市町村で「国道246号バイパス建設促進協議会」を組織し、国などの関係機関に継続した要望活動を行っています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面式での要望活動に加え、WEB会議システムを利用した要望も実施しました。



WEB会議による国土交通省要望活動の様子(令和2年7月)(写真は高橋市長)

設計・用地説明会の開催

平成27年から測量および地質調査を行ってきた、伊勢原西IC~東名秦野中井IC区間については、今年10月下旬から11月上旬の5日間で土地所有者などを対象とした説明会が市役所で開催されました。



説明動画を視聴する様子

開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮するため、少人数のグループごとに説明動画の視聴および計画平面図を閲覧する形式で行われました。

今後は事業の対象範囲を示す幅杭の設置が進められる予定です。